

# PHILIPS

*SmartSleep*

スノア サイレンサー



フィリップス SmartSleep スノア サイレンサー

品番 **SN3710/15**

**取扱説明書**

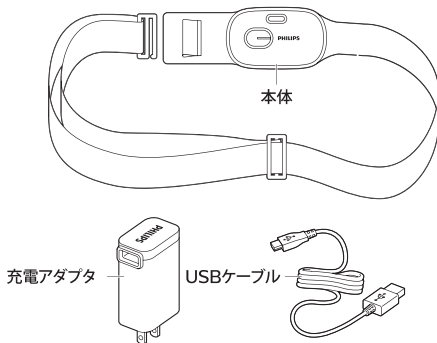
## はじめに

フィリップス SmartSleep スノア サイレンサーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。長い間で愛用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

また、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

## 商品のご確認

商品をご確認ください。



# 目次

	はじめに .....	1
	商品のご確認 .....	1
	目次 .....	2
	必ずお守りください .....	3・4
	各部の名称 .....	5
	使用前の準備 .....	6～8
●ご使用方法	使いかた .....	9・10
	ディスプレイ表示 .....	11～13
	機能について .....	14
	お手入れのしかた .....	15
	保管のしかた .....	16
●廃棄について	製品を廃棄するとき .....	16
●困ったとき	トラブルシューティング .....	17・18
●英文解説	Guidance in English .....	19～50
	保証とアフターサービス .....	51
●保証	仕様 .....	52
	無料修理規定 .....	54
	保証書 .....	最終ページ

# 必ずお守り ください

## 安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに想定される内容を「警告」と「注意」に区別しています。

### ○絵表示について



記号は、「警告、注意」を示します。  
図の中や近くに具体的な注意内容を示します。



**警告** 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。



**注意** 人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

### ○絵表示の例



○記号は、してはいけない「禁止」を示します。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)を示します。



●記号は、必ずしていただく「強制」を示します。図の中や近くに具体的な強制内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと)を示します。



## 警告



●本製品をこの取扱説明書に書かれている目的以外のことに使用しないでください。



●異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると火災・感電・けがに至るおそれがあります。



●電源プラグは、根元まで確実に差し込んでください。スムーズにコンセントに電源プラグが装着できない場合、無理に押し込もうとしないでください。火災や感電の原因になります。



●充電アダプタを傷つけたり、USBケーブルを無理に曲げたり引っ張ったり、ねじったりたねたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりしないでください。USBケーブルが破損し、火災・感電の原因となります。



●充電アダプタが傷んだり、コンセントの差込みが緩いときは使用しないでください。感電・ショート・発火の原因になります。



●使用前に本製品を必ず点検してください。損傷している場合や濡れていたり熱を持っている場合は使用しないでください。負傷する恐れがあります。



●本体ならびに充電アダプタは改造しないでください。火災、感電、けがの原因となります。修理はフィリップスサポートセンターにお問い合わせください。



●本製品は屋内使用専用です。屋外では使用しないでください。



●傷ついた皮膚の上にストラップを装着しないでください。



●充電アダプタは必ず付属の専用アダプタを使用してください。また付属の専用アダプタで他の製品を充電しないでください。ショート、異常発熱による発火の原因になります。破損、故障した場合は、事故を避けるため必ずフィリップス社製の同型充電アダプタをお求めください。



●濡れた手で電源アダプタやセンサーを抜き差ししないでください。感電やけがをすることがあります。



●充電アダプタやセンサーを水につけたり、水をかけたりしないでください。故障や、ショート・感電の原因になります。



●水がかかる恐れのある場所や湿気の多い場所での充電は絶対にしないでください。ショート・感電の原因になります。



●お手入れの際は必ず充電アダプタをコンセントから抜いてください。感電やけがをすることがあります。



●充電アダプタは、完全に乾いていることを確認してからコンセントに差ししてください。ショート・感電の原因になります。



●乳幼児の手の届くところに本製品を置かないでください。またお子様が本製品で遊ぶことがないように監視してください。



●自分で意思表示できない人(幼児を含む)に使用させないでください。また、お体の不自由な人だけでは使用しないでください。



## ⚠ 注意



●センサーを洗うことはできません。センサーを水で洗浄したり水没させたりしないでください。



●充電時以外は、充電アダプタをコンセントから抜いてください。けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因となります。



●電源コネクタ部受部にピンやごみを付着させないでください。感電・ショート・発火の原因になります。



●圧縮空気、金属たわし、研磨洗浄剤、石油やアセトンなどの強力な液体のいずれかで、本製品を絶対にクリーニングしないでください。



●弾性のあるストラップを引っ張って突然離れた際、ストラップの跳ね返りにより打撲する恐れがありますのでご注意ください。

## 使用上のご注意

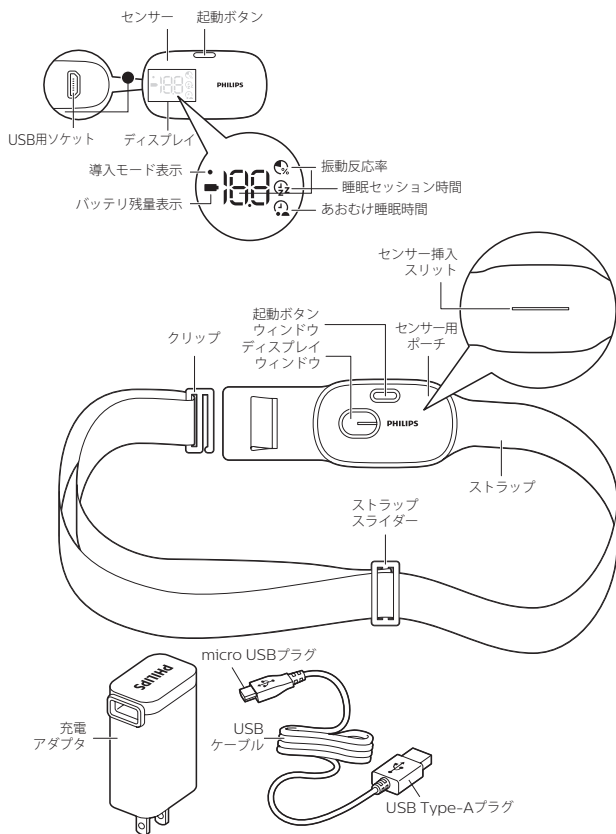
1. ストラップは、胸部の下に密着させながらも、心地よく感じるように取り付けてください。
2. ユーザーを変更する場合は、センサーをリセットしてください。センサーは自己学習機能を備えており、ユーザーの睡眠状態に合わせて最適化されています。
3. 本製品の使用・充電・保管は「P52仕様」に記載されている環境の下で行ってください（尚、低温や高温で充電すると、充電電池の寿命が短くなります）。
4. 製品寿命にわたってバッテリーの性能を最適化するには、バッテリー残量表示がオレンジ色で点滅したらバッテリーを充電するようにしてください。
5. バッテリー残量が0%の状態ではセンサーを保管しないでください。センサーを2時間充電してから室温で保管することにより、製品寿命にわたってバッテリーの性能を確実に最適化できます。
6. 衛生上の理由により、ストラップは洗って自然乾燥できます。乾燥機の使用は禁止です。また、洗いにすぎにご注意ください。
7. プラグ式消臭・芳香剤を使用しているコンセント、あるいはその近くのコンセントに充電アダプタを接続しないでください、充電アダプタを傷める原因となります。



**注意** 下記に該当する場合は本製品を使用しないでください。

- 本製品は、睡眠中にいびきをかいている間に、呼吸の停止と再開を繰り返している場合は使用しないでください。重篤な睡眠障害となりうる閉塞性睡眠時無呼吸症候群である可能性があります。医師の診察を受けてください。
- 胸部の微弱な振動による刺激の影響を受ける可能性がある医療機器（例：ペースメーカー、インスリンポンプ）を植込まれている方は、本製品を医師に相談することなく使用しないでください。妊娠中は、使用前に医師に相談してください。
- 本製品は、身体的状態を理由に（例：肩や背中の疾患のため）おおむねで眠る必要がある方は使用しないでください。
- 本製品は、上半身を起こして眠る方や睡眠中に2個以上のまくらが必要な方は使用できません。
- 身体的制約により睡眠中に自力で姿勢を変えることができない方は振動によって寝返りに移行できないため、本製品を使用しないでください。
- 本製品は、ポリエステル、ナイロン、スパンデックスのいずれかにアレルギーの既往がある場合は使用しないでください。
- 本製品は18歳以下の方は使用できません。

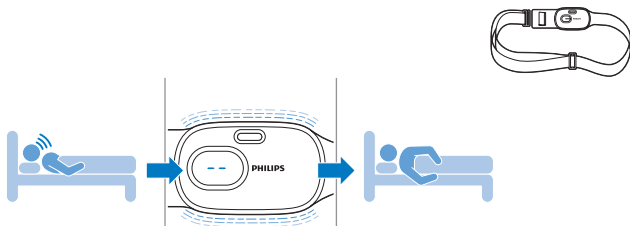
# 各部の名称



## 使用前の準備

いびきの多くは、寝る時の姿勢が原因で発生するといわれています。あおむけで寝ると、舌が喉の奥に下がり、気道をふさぐことで振動音(いびき)が発生します。このような場合、横向きで寝るといびきが減少するという研究結果が出ています。本製品は本体のセンサーで寝ている姿勢を計測し、あおむけで寝ているときに振動をかけることで横向きで寝よう寝返りを促すものです<sup>1</sup>。

- 1 本製品は、横向きで眠るといびきが止まり、あおむけになるといびきをかく、体位依存性の症状をお持ちの方を対象としています。



## 充電

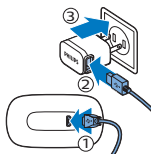
初めて使用前や、バッテリー残量表示がオレンジ色で点滅しているときはセンサーを充電してください。

充電時間は最大8時間です。満充電されたセンサーは、最大8回の睡眠セッションでご利用になれます。

### ●充電方法

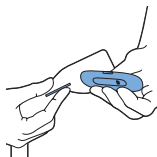
センサーはストラップのポーチの中に入れた状態で充電してください。

- 1 USBケーブルのmicro USBプラグをセンサーの背面にあるソケットに差し込みます。
- 2 USBケーブルのUSB Type-Aプラグをアダプタのソケットに差し込みます。
- 3 アダプタをコンセントに差し込みます。  
※充電中はセンサーを使用できません。

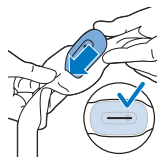


## センサーをポーチに挿入する

- 1 ポーチの背面にあるスリットを押して開きます。



- 2 センサーをポーチに挿入します。  
※センサー全体がポーチに完全に挿入されていることを確認してください。



- 3 センサーのディスプレイと起動ボタンは、ポーチのウィンドウから視認できる必要があります。

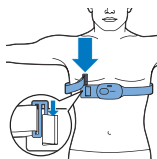


本製品は、いびきによる睡眠の中断を抑制して睡眠の質を改善することを目的に開発されました。本製品は医療機器ではなく、POSA(位置閉塞性睡眠時無呼吸)などの疾病や病状の緩和および治療を意図するものではありません。

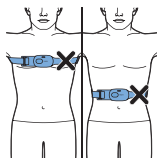
※本製品の使用方法は、フィリップスの公式ホームページをご覧ください。

## スノア サイレンサーを装着

- 1 センサーが入ったポーチの中心を、体幹正面(胸部の直下)に配置します。



- 2 高すぎたり、低すぎたりする位置でストラップを装着しないでください。

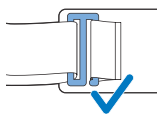


- 3 ループにクリップを完全に押し込んで、ストラップにしっかりと固定します。

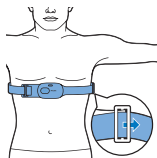
※起動ボタンが顎側に位置し、ディスプレイがポーチのウィンドウから視認できることを確認してください。

※衣服の上から装着することも可能ですが、素肌に直接装着すると振動が伝わりにくくなる可能性がありますので、肌着の上から装着するなどしてください。

ボディーローションなどを使用している場合は確実に皮膚に吸収されたことを確認してから装着してください。



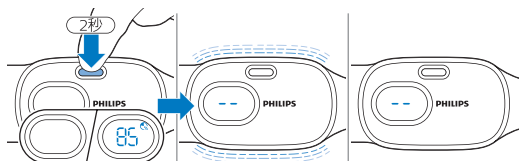
- 4 ストラップスライダーでストラップの長さを調節します。ストラップは、胸部の下に密着させながらも、心地よく感じるように取り付けてください。本製品は夜間を通じて同じ位置に固定する必要があります。振動を感じることでできれば、ストラップは適切に調節されています。



# 使いかた

## 睡眠セッションの開始

睡眠の準備ができれば、センサーが付いたストラップを胸部に巻き付けます（「P.8 スノアサイレンサーを装着」を参照）。男性の場合は、ストラップを上胸部の下に装着してください。女性の場合は、ストラップを乳房の下に装着してください。



### ●睡眠セッションは手動で開始する必要があります。

センサーにいずれかのデータ画面が表示されている場合、またはセンサーがオフの場合は、起動ボタンを2秒間長押しすることで睡眠セッションを開始できます。

センサーが短時間振動して「-」の点滅が表示され、睡眠セッションが開始したことを示します。このマークは睡眠セッション中、ディスプレイで視認できます。

※睡眠セッションとはセンサーの計測を開始してから終了するまでの一晩のセンサーの起動期間を指します。

※就寝するご準備ができた場合のみ、睡眠セッションを開始してください（まだ就寝をされない場合は、睡眠セッションを開始しないでください）。

※睡眠セッション開始後30分間はセンサーは振動しません。そのため、ユーザーは睡眠セッション開始後、どのような体位で寝ても振動による睡眠への干渉はありません。30分経過するとセンサーがユーザーのおおむけを計測し始め、振動するようになります。

※睡眠セッションは最大12時間継続できます。12時間経過すると、センサーは睡眠セッションを自動的に停止し、スイッチが切れます。

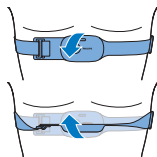
※睡眠セッションを停止してから2時間以内に再度開始した場合は、両方のセッションが1つの完全な睡眠セッションとしてカウントされます。

## 一時停止

センサーにより、ユーザーが上半身を起こしたりベッドから出たりしたこと(床に対して垂直な姿勢)が検知された場合、睡眠セッションは自動的に一時停止します。ユーザーが再度横になった後、センサーはユーザーが就寝できるよう最初の30分間振動しません。30分間経過すると、センサーはユーザーがあおむけから横向きになるよう促します。

### ●振動の一時停止

睡眠セッションの起動中、ユーザーがあおむけになり目覚めていてもセンサーを振動させたくない場合は、センサーを床に対して垂直な位置に傾けてから元に戻すと一時停止します。一時停止中は取得データに反映されません。

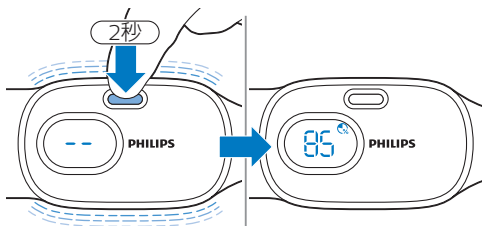


## 睡眠セッションの停止

ユーザーは、目を覚ましてベッドから出る際に、睡眠セッションを手動で停止させる必要があります。

睡眠セッションを停止するには、起動ボタンを2秒間長押しします。睡眠セッションを停止しない場合、本製品を取り外し、床に対して水平な面に置いた際にセンサーが振動を続けます。セッションを停止しないと、取得データにも影響を与えます。

睡眠セッションの終了後は、センサーが短時間振動して、ユーザーの直近の睡眠セッションに関するデータが表示されます。



# ディスプレイ表示

## データ項目

ディスプレイには、3種類のデータ項目が表示されます。



### 振動反応率

センサーが振動した後にユーザーがあおむけから横向きになった割合 (パーセンテージ表示)。



### 睡眠セッション時間

今回の睡眠セッションの長さ。



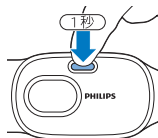
### あおむけ睡眠時間

あおむけで眠っていた時間の長さ。



## ディスプレイ

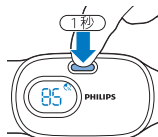
- 1 起動ボタンを短く押して、センサーのスイッチをオンにします。



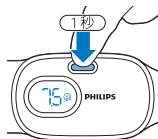
- 2 センサーのスイッチをオンにすると、データ項目とバッテリー残量表示のアニメーションが素早く表示されます。



- 3 データ項目 ポイント1: ①振動反応率。振動反応率は、センサーが振動した後にユーザーがあおむけから横向きになった割合 (パーセンテージ表示) を示します。起動ボタンを再度短く押して、睡眠セッション時間を確認します。



- 4 データ項目 ポイント2: ②睡眠セッション時間。今回の睡眠セッションの長さがセンサーに表示されます。起動ボタンを再度短く押して、あおむけで眠っていた時間を確認します。



- 5 データ項目 ポイント3: ③あおむけ睡眠時間。あおむけで眠っていた時間の長さがディスプレイに表示されます。

※センサーには、ユーザーの直近の睡眠セッションに関するデータのみが保存されます。センサーを初めて使用する場合は、使用できるデータが存在しないことを示すためディスプレイに「-」と表示されます。

※センサーにいずれかのデータ項目が表示されている場合、8秒間操作が行われないとセンサーのスイッチは自動的にオフになります。



## エラーコード

センサーのディスプレイに「A1」または「A2」と表示されることがあります。この場合、対処する必要はありません。コードは、センサーにデータが表示されない理由を通知するものです。



A1 セッションが1時間未満であったことを示しています。1時間未満のセッションは、睡眠セッションとして保存されません。センサーには振動反応率とあおむけ睡眠時間に関するデータが一切表示されません。



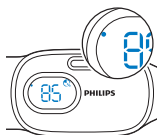
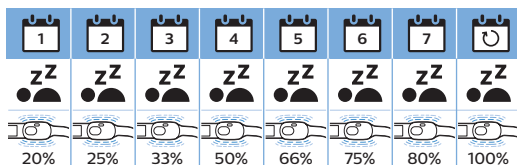
A2 セッションが12時間を超えていたことを示しています。12時間後、センサーは睡眠セッションを自動的に停止し、スイッチが切れます。センサーには振動反応率とあおむけ睡眠時間に関するデータが一切表示されません。

# 機能について

## 導入モード

本製品に慣れるには、時間がかかる場合があります。振動に慣れるのをサポートするため、センサーは7回の睡眠セッションで構成される導入モードを開始します。

このステップでは、ユーザーがあおむけになっても本製品は毎回振動しません。睡眠セッションの回数が進むにつれて、より頻繁に振動するようになります。8回目の睡眠セッション以降、センサーは常時ユーザーがあおむけから横向きになるよう促します。



導入モードがアクティブであることを示すため、センサーのディスプレイの左側に小さな点が表示されます。

## 振動レベル

センサーは自己学習機能を備えています。センサーは振動レベルをユーザーの反応時間に基づき最適化します。

## 振動パターン

5日ごとに、ユーザーが振動に慣れることなく確実に反応を継続するよう、振動パターンは変化します。

# お手入れのしかた

## センサーのお手入れ

センサーを水で洗浄したり水に浸したりしないでください。  
研磨剤入り洗剤等でセンサーを絶対にクリーニングしないでください。

必要に応じて、センサーは使用後に乾いた布でクリーニングしてください。

## ストラップのお手入れ

ストラップを洗濯機に入れる前に、必ずストラップからセンサーを取り外してください。

- 1 ストラップは洗濯機で洗濯できます。
  - ※ストラップや他の衣類が洗濯機の中で傷むのを防ぐため、目が細かい洗濯ネットか、フラスナーまたはひも付きの枕カバーにストラップを入れてください。
  - ※水温の上限は30℃で、洗濯機のコースはソフトを選択してください。
- 2 ストラップを自然乾燥させます。
  - ※ストラップは乾燥機で乾燥しないでください。
  - ※ストラップにアイロンをかけないでください。
  - ※ストラップを過度に引っ張らないでください。

## 保管のしかた

センサーとストラップは清潔で乾燥した、室温が5℃～30℃の場所で保管してください。

※お客様による充電電池の修理  
交換はできません。

## 製品を 廃棄するとき

### リチウムイオン充電電池のリサイクルについて

この製品はリチウムイオン充電電池を使用しています。リチウムイオン充電電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの製品の廃棄に際しては、お住まいの国・地域のルールに従って廃棄いただくか、フィリップスサポートセンターにご連絡ください。正しく廃棄することで、環境や人間の健康への悪影響を妨げることができます。

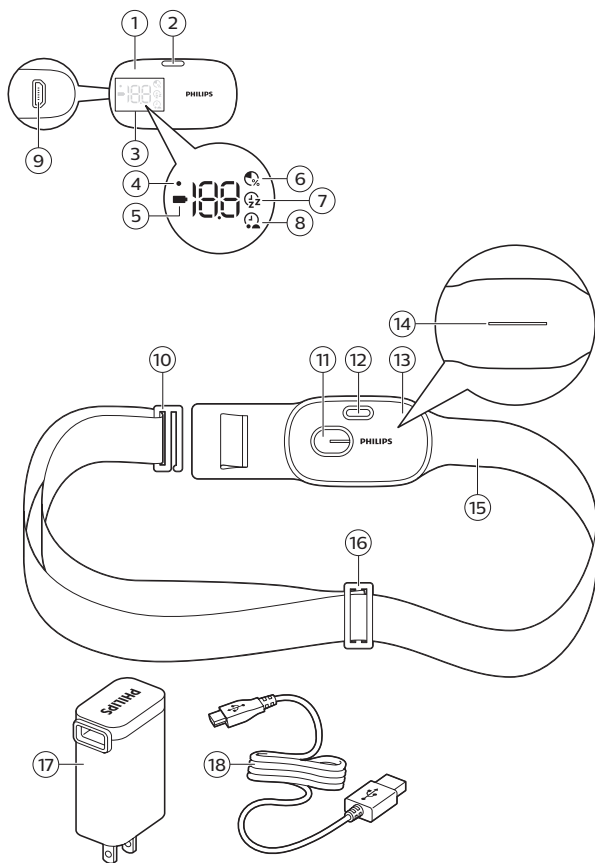


# トラブル シューティング

この章では、本製品で発生する可能性のある一般的な問題をまとめています。

問題	考えられる原因/解決方法
SmartSleep スノアサイレンサーの効果がありません。	<p>あおむけになったときだけでなく、横向きやうつ伏せになって眠っているときにもいびきをかいている可能性があります。本センサーは、あおむけになったときにのみいびきをかく方に対して最も効果があります。本製品を4週間使用して、ご自身に効果があるかどうかを判断してください。うつ伏せで眠っている場合、センサーを正しく機能させるには体の正面に装着する必要があるため、ストラップを不快に感じる可能性があります。</p>
あおむけになっていますが、センサーが振動しません。	<p>導入モードがアクティブな場合は(セッション1〜7)、センサーが振動するまで30分より長くかかることがあります。センサーは一晩ごとに振動の回数をゆっくりと増やしていきます。このステップでは、ユーザーがあおむけになるたびにセンサーが振動を起動させることはありません(P.14「導入モード」を参照)。導入モードがアクティブであることを示す点がディスプレイに表示されているか確認してください(P.14「導入モード」を参照)。8回目の睡眠セッション以降は、センサーが常時ユーザーがあおむけから横向きになるよう促します。</p> <p>センサーのスイッチがオフになっているか、睡眠セッションがアクティブではありません。センサーがオフの場合や、センサーにいずれかのデータ画面が表示されている場合は、睡眠セッションを開始してください。起動ボタンを2秒間長押しします。センサーが短時間振動してディスプレイに「-」の点滅が表示され、睡眠セッションが開始したことを示します(P.9「睡眠セッションの開始」を参照)。</p>
あおむけになっているとセンサーが振動して目が覚めますが、いびきはかいていません。	<p>本センサーは、あおむけになったときにいびきをかく方のために設計されています。いびきの音を記録しているのではなく、ユーザーの寝ている姿勢を計測しています。本製品は睡眠セッション開始後30分は振動しませんが、振動で起きてしまった場合は一時停止をして再度眠りについてください(P.10「一時停止」を参照)。</p>
振動を感じません。	<p>本製品の装着位置が間違っている可能性があります(例:背中にある、または胸部よりも低すぎるか高すぎる)(P.8「スノアサイレンサーを装着」を参照)。センサーが入ったポーチの中心を、胸部の直下で体幹前面に配置します。ストラップをクリップで閉めて、体幹の周りに密着させながらも、心地よく感じるようにストラップを調節してください。</p> <p>センサーがポーチの中で正しく配置されていません(前後または上下が逆)(P.7「センサーをポーチに挿入する」を参照)。センサーがポーチにしっかりと挿入され、起動ボタンが顎側にあることを確認してください。ディスプレイはポーチのウィンドウから視認できる必要があります。</p>

問題	考えられる原因/解決方法
データ項目に誤った情報が表示されます。	睡眠セッションの開始時に、バッテリー残量がほぼ0%となっていた可能性があります。睡眠セッションの間にバッテリーが切れると、センサーのスイッチはオフになりデータの収集が停止します。
	睡眠セッションが12時間を超えたので、自動的に停止した可能性があります(バッテリーを節約するため)。ディスプレイにはエラーコード「A2」が表示されます(P.13「エラーコード」を参照)。睡眠セッションが最大値である12時間を超えたのに、適切に停止されませんでした。起床後は必ず手動で睡眠セッションを確実に停止してください(P.10「睡眠セッションの停止」を参照)。
	睡眠セッションを停止してから2時間以内に、別の睡眠セッションを開始した可能性があります。前回の睡眠セッションでスイッチをオフにしてから2時間以内に別の睡眠セッションを開始した場合、センサーはこれら2つの睡眠セッションを1つの睡眠セッションとして登録します。
	睡眠セッションが1時間未満の可能性があります。ディスプレイに振動反応率とあわせて睡眠時間に関するデータは表示されません。1時間未満のセッションに関しては、「A1」と表示されます(P.13「エラーコード」を参照)。
本体をリセットしたい	本体をリセットするにはディスプレイが表示されている状態で5秒以上電源ボタンを長押しします。ディスプレイにカウントダウン(3、2、1)が表示された後振動するまで長押ししてください。最後の振動はリセットが正常に行われたことを示しています。リセットを行うことで本体が初期化されます。リセットした場合、再度導入モードがアクティブになります。
リセットが機能しません。	長押ししている時間が短すぎます(5秒未満)。ディスプレイにカウントダウン(3、2、1)が表示されて振動を感じるまで、起動ボタンを長押ししてください。「-」がディスプレイに表示された場合も押し続けてください(長押しの2秒後)。
	センサーがオフになっているか、睡眠セッション「-」に入っています。長押し(5秒間)は、ディスプレイがアクティブで、センサーにいずれかのデータ画面が表示されている場合のみ機能します(P.11「データ項目」を参照)。





## Introduction

Congratulations on your purchase and welcome to Philips! To fully benefit from the support that Philips offers, register your product at **[www.philips.com/welcome](http://www.philips.com/welcome)**.

The first Philips solution designed to alert you before your snoring starts. The positional monitor detects when you're moving onto your back and delivers adaptive vibrations that prompt you to sleep on your side – leading to quieter nights for you and your partner<sup>1</sup>.

<sup>1</sup>The product is for position-dependent back snorers for whom snoring ceases when sleeping on their side.

Tip: Watch the how-to videos of the Snoring Relief Band at

**<https://www.usa.philips.com/c-e/smartsleep/snoring-relief-band>**

## General description

- |   |                            |    |                              |
|---|----------------------------|----|------------------------------|
| 1 | Sensor                     | 10 | Clip                         |
| 2 | Activation button          | 11 | Window for display           |
| 3 | Display                    | 12 | Window for activation button |
| 4 | Adaptation phase indicator | 13 | Pouch for sensor             |
| 5 | Battery status indicator   | 14 | Insertion slit for sensor    |
| 6 | Response rate              | 15 | Strap                        |
| 7 | Length of sleep session    | 16 | Strap adjuster               |
| 8 | Hours on your back         | 17 | Adapter                      |
| 9 | Socket for USB             | 18 | USB cable                    |

## Intended use

The Philips SmartSleep Snoring Relief Band is intended to reduce snoring disruptions, leading to an improved sleep experience. This product is not a medical device and is not intended for use in the mitigation and treatment of disease or conditions including POSA (Positional Obstructive Sleep Apnea).

## When not to use

- The Snoring Relief Band must not be used if your breathing repeatedly stops and starts during sleep while snoring. You might have obstructive sleep apnea which is potentially a serious sleep disorder. Consult a doctor for diagnosis.
- Do not use the Snoring Relief Band if you are younger than 18 year.

- The Snoring Relief Band should not be used by a person who has a medical implant (e.g. pacemaker, insulin pump) that can be affected by mild vibrational stimuli on the chest, without consulting a doctor first.
- During pregnancy, consult a doctor before use.
- The Snoring Relief Band is not recommended for persons who are supposed to sleep on their back due to a physical condition (e.g. because of shoulder or back problems).
- The Snoring Relief Band cannot be used by persons who sleep in an upright position or require more than 2 pillows during sleep.
- Do not use the Snoring Relief Band if you are not able to switch sleeping positions independently due to physical limitations.
- Do not use the Snoring Relief Band in case of existing allergies to Polyester, Nylon or Spandex.

## **Important safety information**

Read this important information carefully before you use the product and save it for future reference.

# DANGER

## **To reduce the risk of electric shock:**

- The Snoring Relief Band is for indoor use only.
- Keep the adapter and the sensor dry and away from liquids and moisture (running tap, bathroom etc.).
- Never immerse the adapter and sensor in water nor rinse it under the tap.

# WARNING

## **To reduce the risk of burns, fire, electric shock, or injury to persons:**

- Only use this product for its intended purpose as shown in this user manual.
- Do not place the strap on damaged skin.
- This device is not intended for use by persons (including children) with reduced physical, sensory or mental capabilities, or lack of experience and knowledge, unless they have been given supervision or instruction concerning use of the device by a person responsible for their safety.
- Do not let children play with the Snoring Relief Band, the strap, the adapter or the USB cable as these may present a strangulation hazard.
- Always check the Snoring Relief Band before you use it. Do not use the Snoring Relief Band or adapter if it is damaged, became wet or hot as this may cause injury.
- Be aware of the kinetic energy stored in elastic strap when stretched and released suddenly, it may cause bruises.
- Only use the adapter WAA1001 which is provided with the Snoring Relief Band for charging the battery. Using

another adapter may jeopardize system safety.

- If the adapter and/or USB cord is damaged or defective, always seek a replacement from Philips in order to avoid a hazard (see 'Accessories').
- The sensor contains a non-replaceable Lithium battery.
- Do not open the sensor, there are no serviceable parts inside. It will void warranty and may induce a battery related hazard.
- Do not dispose of batteries in fire or extreme heat. Batteries may explode or leak.

## CAUTION

- The sensor is not washable. Never immerse the sensor in water or rinse it under the tap.
- Never use compressed air, scouring pads, abrasive cleaning agents or aggressive liquids such as petrol or acetone to clean the Snoring Relief Band.
- Check if the voltage indicated on the adapter corresponds to the local mains voltage before you connect the adapter.
- Do not use the adapter in or near wall sockets that contain or have contained an electric air freshener to prevent irreparable damage to the adapter.
- Use and store the product under the right environmental conditions as indicated in this user manual (see 'Specifications '). If not, this could affect the performance and lifetime of the product.
- The strap should feel snug but comfortable below your chest.
- Reset the sensor if you intend to change the user as the sensor has a self-learning algorithm which is optimized to your personal sleep behavior.

## General

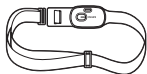
- For hygienic reasons, the strap can be washed and air-dried. Tumble dry and/or excessive washing will deteriorate the aesthetic appearance of the strap.
- For optimal battery performance of the product life time, charge the battery when the battery low indicator blinks orange.
- Do not store the sensor when the battery is empty. Charge the sensor for two hours and then store it at room temperature to ensure optimal optimal battery performance over the product life time.
- After charging, remove the adapter from the wall socket to preserve energy.
- After the product has reached end-of-life, dispose the sensor battery as described in chapter 'recycling' to preserve our environment.

# SAVE THESE INSTRUCTIONS

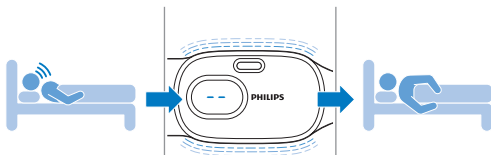
## Electromagnetic fields (EMF)

This Philips product complies with all applicable standards and regulations regarding exposure to electromagnetic fields.

## Preparing for use



The Snoring Relief Band consists of a sensor and a strap. Wear the Snoring Relief Band when you sleep to reduce snoring caused by sleeping on your back. The sensor will gently vibrate to encourage you to turn from your back to your side.



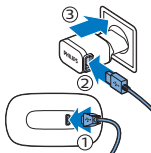
## Charging

Charge the sensor before first time use and when the battery low indicator blinks orange.

Charging takes up to 8 hours. A fully charged sensor has an operating time of up to 8 sleep sessions.

### Charging with the adapter

Tip: Charge the sensor when it is in the pouch of the strap.



- 1 Insert the small plug of the USB cable into the socket on the back of the sensor.
- 2 Insert the large plug of the USB cable into the socket of the adapter.
- 3 Insert the adapter into the wall socket.  
Note: You cannot use the sensor while charging.

Note: Put the sensor on a flat surface while charging.

Note: The USB socket on the sensor can only be used for charging.

Note: During charging, the battery indicator blinks slowly white.

### **Battery fully charged**

When the battery is fully charged, the battery indicator lights up white continuously and switches off automatically after 30 minutes.

### **Quick charge**

When the battery is low or empty, you can quickly charge the sensor for 1 hour. This allows you to use the sensor during one sleeping session.

### **Battery low**

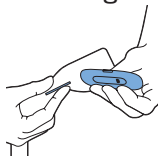
The sensor can only be used for one more sleep session.

### **Battery empty**

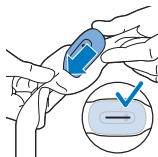
When the battery is almost empty, the battery indicator blinks orange quickly. Charge the sensor when the battery low indication lights up before using it.



## Inserting the sensor into the pouch



- 1 Push open the slit on the back of the pouch.



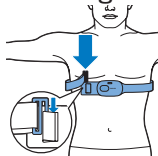
- 2 Insert the sensor into the pouch.

Note: Make sure that the sensor is completely inserted into the pouch.

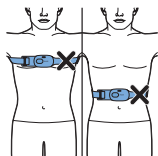


- 3 The display and the activation button of the sensor should be visible through the pouch windows.

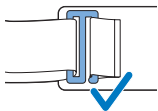
## Wearing the Snoring Relief Band during the night



- 1 Center the pouch with the sensor in front of your torso, just below the chest.



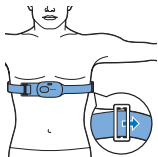
- 2 Do not wear the strap too high or too low.



- 3 Fully push the clip into the loop to securely fasten the strap.



Note: Make sure that the activation button is pointing towards your chin and the display is visible through the window of the pouch.



Note: For best results, wear the Snoring Relief Band on bare skin. In case you use body lotions make sure that these are absorbed by the skin before assembling the strap.

- 4 Adjust the length of the strap with the strap adjuster. The strap should feel snug but comfortable below your chest. The Snoring Relief Band should stay in the same position during the night. The strap is tight enough if you are able to feel the vibrations.

## Using the product

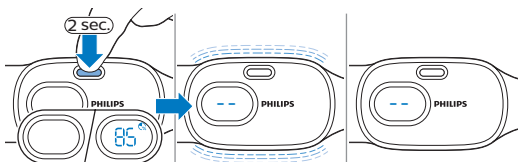
### Starting a sleep session

When you are ready to go to sleep, put the strap with the sensor around your chest (see 'Wearing the Snoring Relief Band during the night'). For men, the strap should be worn below the upper chest. For women, it should be worn below the breasts.

#### **You need to manually start a sleep session.**

Start a sleep session when you are in one of the data screens or when the sensor is off. Press and hold the activation button for two seconds.

- The sensor will vibrate briefly and show alternating dashes '- -' to indicate that the sleep session has started. These dashes are visible on the display during the sleep session.



#### **Notes:**

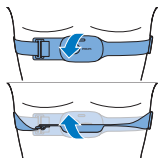
- Only start a sleep session when you have the intention to fall asleep (don't start a session when you first want to watch television).
- The sensor allows you to fall asleep in any position. This means that during

the first 30 minutes of a sleep session the sensor will not vibrate. Once the 30 minutes have passed, the sensor will vibrate when you are lying on your back.

- A sleep session can last up to 12 hours. After 12 hours the sensor automatically stops the sleep session and switches off.
- If a sleep session has been stopped and started again within a two hour timespan, both sessions are counted as one full sleep session.

## Automatic pause mode

A sleep session is automatically paused, when the sensor detects you sat up or got out of bed (vertical position). After you lie down again, the sensor will not vibrate for the first 30 minutes to allow you to fall asleep. Once the 30 minutes have passed, the sensor encourages you to turn from your back to your side.



## Temporarily interrupt vibrations

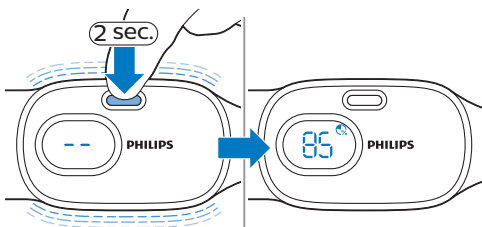
If the sleep session is active and you are awake and lying on your back, but you do not want the sensor to vibrate at that moment, tilt the sensor to a vertical position and back to start the automatic pause mode. The pause mode is not shown in the sensor data.

## Stopping a sleep session

**You need to manually stop the sleep session when you wake up and get out of bed.**

To stop a sleep session, press and hold the activation button for two seconds. If you do not stop the sleep session, the sensor keeps vibrating when the Snoring Relief Band is taken off and the sensor is placed on a horizontal surface. Not stopping a session also influences the sensor data.

After the sleep session has ended, the sensor will vibrate briefly and show the data of your last sleep session.



## Sensor data

The display shows three types of sensor data.



### Response rate:

How many times (in percentage) you turned from your back to your side after the sensor vibrates.



### Length of sleep session:

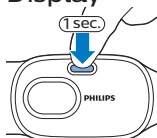
How many hours you spent in bed.



### Hours on your back:

How many hours you spent on your back.

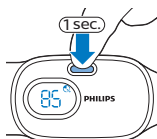
## Display




- 1 Press the activation button briefly to switch on the sensor.

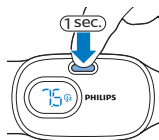



- 2 The sensor switches on and quickly shows an animation of the sensor data and battery indicator.



- 3 Sensor data point 1:  Response rate. The response rate indicates how many times (in percentage) you turned from your back to your side after the sensor vibrates.

Press the activation button briefly again to see the length of your sleep session.



- 4** Sensor data point 2:  Length of sleep session. The sensor shows how many hours you spent in bed.

Press the activation button briefly again to see the hours spent on your back.



- 5** Sensor data point 3:  Hours on your back.

The display shows the number of hours you have spent on your back.

**Note:** The sensor will only save the data of your last sleep session. If you use the sensor for the first time the display shows '-.-' to indicate that there is no data available yet.

**Note:** When the sensor shows one of the data screens, the sensor switches off automatically after eight seconds of inactivity.

## Error code

The sensor may show A1 or A2 on the display. You do not need to do anything. The code informs you why the sensor does not show data.



A1 indicates a session of less than one hour. Sessions shorter than one hour are not saved as a sleep session. The sensor will not show any data for response rate and the hours on your back.



A2 indicates a session of more than twelve hours. After twelve hours, the sensor automatically stops the sleep session and switches off. The sensor will not show any data for response rate and the hours on your back.

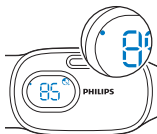
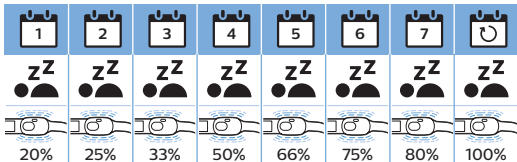


# Learning more about your Snoring Relief Band

## Adaptation phase

You may need some time to get used to the Snoring Relief Band. To help you get used to the vibrations, the sensor starts with an adaptation phase that consists of 7 sleep sessions.

During this phase, the Snoring Relief Band does not vibrate every time you lie on your back. With each next sleep session it vibrates more often. From the eighth session onwards, the sensor always encourages you to turn from your back to your side.



The sensor shows a small dot on the left side of the display to indicate that the adaptation phase is active.

## Vibration level

The sensor has a self-learning algorithm. The sensor optimizes the vibration level based on your reaction time.

## Vibration patterns

Every five days, the vibration pattern changes to make sure that you do not get used to the vibrations and that you will keep responding to them.

## Cleaning

### Cleaning the sensor

**Warning: Do not immerse the sensor in water and do not rinse it under the tap.**

**Warning: Never clean the sensor with abrasive cleansing products or (aggressive) liquids.**

Clean the sensor with a dry cloth after use, if needed.

### Cleaning the strap

**Warning: Always remove the sensor from the strap before you put the strap in the washing machine.**

- 1 You can wash the strap in the washing machine according to the washing instructions.

**Caution:** To prevent damage to the strap and other clothes in the washing machine, put the strap in a fine-mesh washing bag or zippered/tied pillowcase.

Note: Select a gentle wash cycle and a maximum temperature of 30 °C (86 °F).

**2** Let the strap air-dry.

- Do not tumble dry the strap
- Do not iron the strap.
- Do not stretch the strap excessively.

## Storage

Store the sensor and strap in a clean, dry place at room temperature.

## Assistance

For assistance, visit our website:  
[www.philips.com/support](http://www.philips.com/support).

## Troubleshooting

This chapter summarizes the most common problems you could encounter with the product. If you are unable to solve the problem with the information below, visit [www.philips.com/support](http://www.philips.com/support).

Problem	Possible cause / solution
The Snoring Relief Band doesn't work for me.	You do not only snore when you are sleeping on your back, but also when you sleep on your side and/or stomach. The sensor is most effective for people who ONLY snore when sleeping on their back. Use the Snoring Relief Band for at least 4 weeks to determine if it is effective for you. If you sleep on your stomach, the strap might feel uncomfortable because the sensor needs to be on your front to function properly.

Problem	Possible cause / solution
I'm lying on my back, but the sensor does not vibrate.	<p>When the adaptation phase is active (session 1-7), it may take longer than 30 minutes before the sensor vibrates. The sensor slowly builds up the number of vibrations each night. During this phase the sensor will not vibrate every time you sleep on your back (see 'Adaptation phase').</p> <p>Check if a dot is shown on the display, indicating the active adaptation phase active (see 'Adaptation phase'). From the eighth session onwards, the sensor always encourages you to turn from your back to your side.</p>
	<p>The sensor is switched off or the sleep session is not active.</p> <p>Start a session when when the sensor is off or if you are in one of the data screens. Press and hold the activation button for two seconds. The sensor vibrates briefly and shows '- -' on the display to indicate that the sleep session has started (see 'Starting a sleep session').</p>

Problem	Possible cause / solution
The sensor vibrates when I'm lying on my back awake, but I am not snoring.	The sensor is designed for people who snore sleeping on their back. It doesn't record your snoring, but it measures your position. Try to fall asleep on your side, so the sensor doesn't prevent you to fall asleep due to the vibrations.
Problem	Possible cause / solution
I don't feel the vibrations	<p>The Snoring Relief band is wrongly positioned (e.g. on your back or too low/high on your chest) (see 'Wearing the Snoring Relief Band during the night').</p> <p>Center the pouch with the sensor in front of your torso, just <b>below the chest</b>. Close the strap with the clip and adjust the strap so it's snug, but comfortable around your torso.</p> <hr/> <p>The sensor is not positioned correctly in the pouch (backwards or upside down) (see 'Inserting the sensor into the pouch').</p> <p>Make sure that the sensor is fully inserted into the pouch, with the activation button pointing towards your chin. The display should be visible through the window of the pouch.</p>

<b>Problem</b>	<b>Possible cause / solution</b>
The sensor data shows incorrect information.	The battery was almost empty when you started the sleep session. If the battery runs out during a sleep session, the sensor switches off and stops collecting data.
	The sleep session lasted more than 12 hours and automatically stopped (to save battery). The display shows error code A2 (see 'Error code'). The sleep session has exceeded the maximum of 12 hours or was not stopped properly. Make sure you manually stop a session (see 'Stopping a sleep session').
<b>Problem</b>	<b>Possible cause / solution</b>
The sensor data shows incorrect information.	Within two hours of stopping a sleep session, you started another sleep session. If you start another sleep session within two hours after switching off the previous session, the sensor will register these two sessions as one single session.
	The sleep session was shorter than one hour. The display shows no data for response rate and hours on your back. It shows 'A1' for sessions shorter than 1 hour (see 'Error code').

Problem	Possible cause / solution
The reset does not work.	<p>The long press was too short (&lt;5 seconds). Press and hold the activation button for five seconds, until you see the countdown (3-2-1) on the display and feel a vibration. Keep pressing even when you see '- -' on the display (after 2 seconds of long pressing). The final vibration indicates that the reset was successful. The adaptation phase is now active again.</p> <hr/> <p>The sensor is off or the sensor is in a sleep session '- -'. The long press (five seconds) only works when the display is active and shows one of the sensor data screens (see 'Sensor data').</p>

## Full Two-Year Warranty

Philips Japan warrant this new product against defects in materials or workmanship for a period of two years from the date of purchase, and agree to repair or replace any defective product without charge.

**IMPORTANT:** This warranty does not cover damage resulting from accident, misuse or abuse, lack of reasonable care, or the affixing of any attachment not provided with the product or loss of parts or subjecting the product to any but the specified voltage or batteries.\*



**NO RESPONSIBILITY IS ASSUMED FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES.**

In order to obtain warranty service, go to **[www.philips.com/support](http://www.philips.com/support)** for assistance. It is suggested that for your protection you return shipments of product by insured mail, insurance prepaid. Damage occurring during shipment is not covered by this warranty.

**NOTE:** No other warranty, written or oral, is authorized by Philips Japan, Ltd.

This warranty gives you specific legal rights, and you may also have other rights which vary from state to state, province to province or country to country. Some states do not allow the exclusion or limitation of incidental or consequential damages, so the above exclusion and limitations may not apply to you.

\* Read enclosed instructions carefully.

PHILIPS and Philips shield are registered trademarks of Koninklijke Philips N.V.



©2020 Philips Japan, Ltd. All rights reserved.

## Disposal



- This product contains a rechargeable lithium-ion battery which must be disposed of properly.
- Contact your local town or city officials for battery disposal information.
- For assistance, visit our website **[www.philips.com/support](http://www.philips.com/support)**.
- Your product is designed and manufactured with high quality materials and components, which can be recycled and reused. For recycling information, please contact your local waste management facilities or visit **[www.recycle.philips.com](http://www.recycle.philips.com)**.

## Safety and compliance

The Snoring Relief Band meets the safety requirements in the USA and Canada:

- UL/CSA 62368: Audio/video, information and communication technology equipment
- UL1642: Batteries
- UL 1310, CAN/CSA C22.2 No 223-M91: Adapters

## FCC Information

- This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
  - Reorient or relocate the receiving antenna.
  - Increase the separation between the equipment and the receiver.
  - Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
  - Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

- This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

## Specifications

### Adapter Philips WAA1001

Safety classification	Class II power supply (double insulation)
Mode of operation	Continuous
Ingress Protection marking	IPX4 (protection against splashing water)
Input characteristics	100-240 Vac, 50/60 Hz, 3.5 W
No-load power consumption	0.03 W
Output characteristics	5.0 Vdc, 2.5 W, 0.5 A
Weight (EU / US)	39 gr (1.38 oz.) / 41 gr (1.44 oz.)
Length of detachable USB cord	60 cm (23.6 in.)

### Sensor

Safety classification	Class III device (sensor battery is charged by a Class II adapter)
Dimensions Sensor (height x width x Depth)	Approx. 79 x 43 x 13 mm (3.1 x 1.7 x 0.5 in.)
Weight Sensor	Approx. 29 gr (1 oz.)
Ingress Protection marking	IP 51
Internal non-replaceable battery	Lithium Polymer 3.7 V, 300 mAh, UL1642

### Strap

Material strap	See textile label on the strap for materials used.
Material hook / slider	Coated steel
Length (min - max)	Approx. (72 cm - 130 cm) / (28 in. - 51 in.)
Weight	Approx. 33 gr (1.16 oz.)







### Operating conditions

















Temperature	+5 °C to +40 °C (41 °F to 104 °F)
Relative humidity	15 % to 95 % (no condensation)
Atmospheric pressure	86 - 106 kPa

## Storage conditions

Short term (<1 month ) storage temperature	-20 °C to +60 °C (-4 °F to +140 °F)
Long term (>1 month) storage temperature	+15 °C to +25 °C (+59 °F to +77 °F)
Relative humidity	≤85 % (no condensation)
Atmospheric pressure	86 - 106 kPa

## Explanation of symbols

Symbol	Explanation
	Manufacturer logo.
	UL listing mark for Canada and the United States.
	For indoor use only.
	Do not dispose of the product with normal household waste.
<b>IP51</b>	Protected against dust and falling drops of water.
	Refers to the user manual. Read the user manual before you use the product.
	DC power.
<b>SN3710</b>	Model number.

	Serial number.
	Detachable supply unit.
	Stand-by.
$t_a=40^{\circ}\text{C}$	Maximum ambient temperature.
	Efficiency class.
	SMPS (Switch Mode Power Supply).
	SMPS incorporating a short-circuit-proof safety isolating transformer.
<b>IPX4</b>	Ingress protection against water splashes from any direction.
 	Machine wash in water not exceeding 30 °C / 86 °F, at delicate/gentle setting.
 	Do not bleach.
 	Do not tumble dry.
 	Do not iron.
 	Do not dry clean.

# 保証と アフターサービス

保証書と修理サービスについて  
(必ずお読みください)

## 〈保証書・最終ページに付属〉

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと大切に保管してください。

保証期間	お買い上げ日から2年間
対象部分	本体、充電アダプタ (USBケーブル、センサー用 ポーチ、ストラップ一式は 対象外)

## 【補修用性能部品の保有期間】

- 補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。
- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 【ご不明な点や修理に関するご相談は】

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、フィリップスサポートセンターにお問い合わせください。

## 【修理を依頼されるときは】

- 修理をご依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、再度点検ください。尚、異常のあるときはご使用を中止し、フィリップスサポートセンターにお問い合わせください。

## 【保証期間中は】

- 製品と保証書をご用意いただき、フィリップスサポートセンターにお問い合わせください。保証書の記載内容により無料修理いたします。

## 【保証期間が過ぎているときは】

- 修理によって商品の機能が維持できる場合は、補修用性能部品の保有期間内であれば、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 部品の在庫がなくなった場合には、保有期間内でも修理できないことがあります。

## 【海外での本製品の保証及びアフターサービスについて】

- 本製品の保証は海外においても有効です(同シリーズ製品の取り扱いがある国に限ります)。
- 日本国以外のフィリップスサービス部門においても保証期間内及び保証期間の経過後のアフターサービスを受けることができますが、この場合多少日数を要することもあります。
- 海外にてアフターサービスを受けられる場合は、現地のフィリップスサービス部門にお問い合わせください。尚、お困りの点がございましたら下記までご連絡ください。

Philips Consumer Lifestyle Service Department P.O.Box 20100 9200 CA DRACHTEN  
The Netherlands Fax: +31 51 259 2785

## 【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

- お受けしましたお客様の個人情報は、株式会社フィリップス・ジャパンのホームページ <http://www.philips.co.jp/> に掲載されている「プライバシーに関する通知」に基づき適切に管理いたします。



お買い上げ日	年 月 日	お買い上げ店 名	TEL. ( )
--------	-------	----------	----------

ご使用の時、このような症状はありませんか？

- 本体にさわると時々電気を感ずる。
- こげくさい臭いがする。
- USB ケーブルを動かすと通電したり、しなかったりする。
- その他の異常、故障がある。

このような症状の時は、故障や事故防止のため、電源をOFFにし、充電アダプタをコンセントから外して、必ずフィリップスサポートセンターにお問い合わせください。

仕 様

品 番	SN3710/15
充電アダプタ品番	WAA1001
センサー寸法 (高さ×幅×奥行)	約79×43×13mm
センサー質量	約29g
ストラップ長さ (最小～最大)	約72 cm～130 cm
ストラップ質量	約33g
電 源 方 式	充電式(専用充電アダプタ使用)
定 格 電 圧	AC100-240V、50/60Hz
充 電 時 間	約8時間
使 用 時 間	最大8セッション(満充電後)
使 用 充 電 池	リチウムイオン充電電池(Li-ion)
消 費 電 力	9W (AC100V充電時)

使用推奨温度

温 度	+5℃～+40℃
相 対 湿 度	15%～95%(結露なし)
大 気 圧	86～106 kPa

保管推奨温度

短 期 間 (1ヵ月未満)の 保 管 温 度	-20℃～+60℃
長 期 間 (1ヵ月起)の 保 管 温 度	+15℃～+25℃
相 対 湿 度	85%以下(結露なし)
大 気 圧	86～106 kPa

※改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。



**株式会社 フィリップス・ジャパン**

〒108-8507 東京都港区港南2-13-37 フィリップスビル

## 無料修理規定

### 〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理します。
  2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、フィリップスサポートセンターにお問い合わせください。
  3. ご贈答品の修理に関するご相談は、フィリップスサポートセンターにお問い合わせください。
  4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
    - ① 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
    - ② お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷。
    - ③ 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
    - ④ 一般家庭以外（例えば、業務用の長時間使用）に使用された場合の故障及び損傷。
    - ⑤ 保証書の提示がない場合。
    - ⑥ 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、或は字句を書き換えられた場合。
- ※ 保証書は、本書に明示した条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、フィリップスサポートセンターにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理・補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書の保証とアフターサービスの項目をご覧ください。
- ※ お客様にご記入いただいた個人情報（保証書の控え）は保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございます。ご了承ください。また個人情報は、株式会社フィリップス・ジャパンのホームページ <http://www.philips.co.jp/> に掲載されている「プライバシーに関する通知」に基づき適切に管理いたします。

# ＜フィリップス SmartSleep スノアサイレンサー保証書＞

## CERTIFICATE OF PURCHASE

この保証書は、「無料修理規定」記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、フィリップスサポートセンターにお問い合わせください。お客様にご記入いただいた個人情報(保証書の控え)は、株式会社フィリップス・ジャパンのホームページ <http://www.philips.co.jp/>に掲載されている「プライバシーに関する通知」に基づき適切に管理いたします。

品 名	SmartSleep スノア サイレンサー
品 番	SN3710/15
保 証 期 間	お買い上げ日より2年
対 象 部 分	センサー、充電アダプタ(USBケーブル、センサー用ポーチ、ストラップ式は対象外)
お 買 い 上 げ 日	年 月 日
お 客 様	ご住所 〒
	ご芳名
	電話番号
★ 販 売 店	販売店名・住所・電話番号

- ★ 保証書は再発行しませんので、大切に保管してください。
- ★ ご販売店様へ この保証書はお客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするものです。贈答品、記念品の場合も含めて必ず記入捺印してお客様にお渡しください。

### ★ 製品の使用方法や修理に関するお問い合わせ

フィリップスサポートセンター

# 0120(479)156

受付時間：9:00～18:00(土日、祝日、年末年始は除く)

## MyPhilips 登録のご案内



フィリップスでは、製品をより快適にご使用いただくために製品登録をおすすめしております。

- ▶ MyPhilipsでは製品の保証書や購入証明書の写真も保管でき、万が一購入証明書を紛失された場合にも安心です。

URL <http://www.philips.co.jp/myphilips-about>

